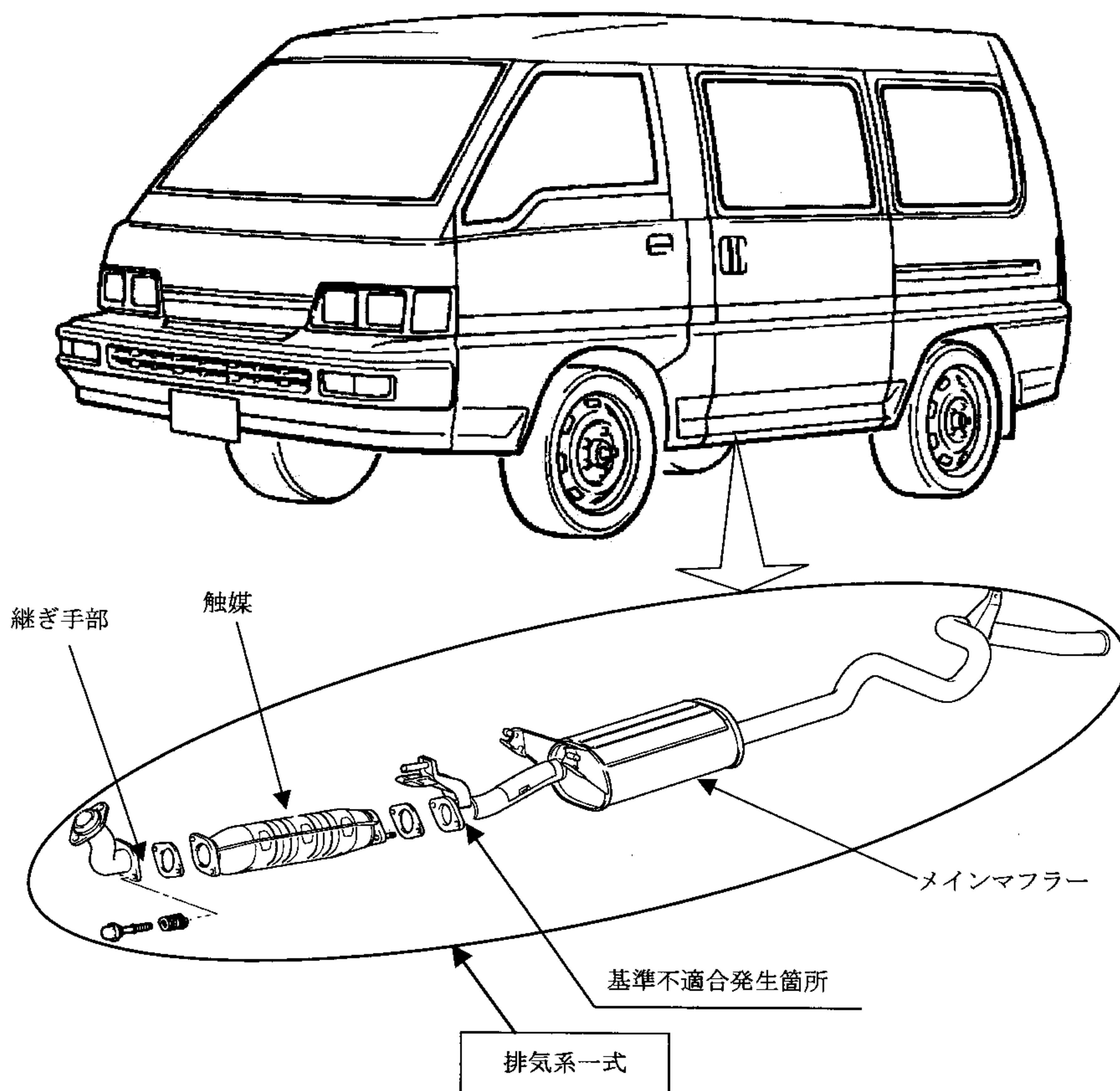


改善箇所説明図



粒子状物質減少装置として触媒を後付け装着した車両において、触媒前の排気管と触媒を結合する継ぎ手部の構造が不適切なため、またはメインマフラー前側の排気管の肉厚が薄いため、走行中のエンジン振動に対する排気管の強度が不足しており、亀裂が入ることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、排気管が折損し、騒音が増大するおそれがある。

改善の内容

全車両、排気系一式を対策品と交換する。

注：図中の 内は交換部品を示す。

識別：排気管後部のハンガーブラケット側面に黄色または白色のペイントを塗布する。